

月	学 習 活 動 (時数) 【探究のプロセス】①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現	外部との連携 (人・もの・こと)
「大月のよさを知ろう」(70時間)		
「大月の自然①」(35時間)		(人) ・町づくり課(久松さん) ・黒潮生物研究所(目崎 所長さん)
5	①大月町の自然について考え、話し合う。	
6	②山と海のグループに分かれて探究活動始める。	(もの) ・大洞山 ・ヒュサンゴ
7	○大洞山やそのまわりについて探究課題を設定 ○大洞山に行き、情報を収集する。 ○情報を整理・分析する。	
9	○大洞山の魅力についてチラシを作成しながらまとめる。	
	○大月の海について探究課題を設定。 ○全校児童、教職員にアンケートをとる。 ○アンケートを集計し、分析する。 ○アンケート結果からさらなる課題を設定する。	
	○ヒュサンゴについて探究課題を設定する。 ○黒潮生物研究所に行き、ヒュサンゴについて情報を収集する。 ○調べたことを学校のみんなに伝えたいと、スライドや新聞にまとめる。	
10	「大月の自然②」(35時間)	
12	○参観日の発表に向けて大洞山の魅力が伝わるように、シナリオを作成する。 ○これまでの学習のまとめとして、大洞山の魅力をペープサートにして、参観日に保護者とクラスの児童に発信する。 (チラシも配布する。)	○ヒュサンゴの秘密について、5,6年生、3・4年生、1・2年生に伝える。 ○参観日に保護者にもヒュサンゴの秘密について伝える。 (新聞も配布する。)
1	○大月の海水がきれいなのかどうかという課題を立て、水質調査をする。 ○PHの値を調べ、分析をする。 ○アンケート結果と水質調査の結果を参観日で保護者と児童に発信する。	
2		
3	③1年間の振り返りをして、4年生への総合学習へつないでいく。	